

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : ヒトGOLM1 測定ELISAキット
製品番号 : KE00111 (メーカー略号: PGI)
構成品名 : Stop Solution
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(吸入): 区分 3
皮膚腐食性及び刺激性: 区分 1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(呼吸器系)

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

吸入すると有毒(気体、蒸気、ミスト)
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
呼吸器系の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ

注意書き

安全対策

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

特別な処置が必要である。
気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
眼に入った場合: 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師に連絡すること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

- 4°Cで保存すること。凍結させないこと。
- 廃棄
内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択 : 混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN [®]	官報公示整理番号
硫酸	9.8	7664-93-9	1-430

危険有害成分

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分 硫酸

4. 応急措置

吸入した場合

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。呼吸困難のときは酸素吸入を行う。

皮膚(又は髪)に付着した場合

- 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

- 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

- 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

- 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

- 医師に暴露物質名、腐食性製品であること、防護のための注意を通知する。
- 寸秒でも早く皮膚の洗浄を始め、触れた物質を完全に洗い流す必要がある。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

- 周辺設備に適した消火剤を使用する。この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

- 火災によって刺激性、有毒または腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 消火水や希釈水は有毒及び腐食性があり汚染を引き起こすおそれがある。

消火を行う者の保護

- 消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 関係者以外は近づけない。
- 密閉された場所に入る前に換気する。
- 適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

おがくず他可燃性吸収物質に吸収させてはならない。

乾燥砂、土に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋、保護衣、呼吸用保護具を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

4°Cで保存すること。凍結させないこと。

安全な容器包装材料

他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(硫酸)

日本産衛学会(2000)(最大値) 1mg/m³

(硫酸)

ACGIH(2000) TWA: 0.2mg/m³(T)(肺機能)

ばく露防止

設備対策

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

形状：液体
色：透明
臭い：無臭
pH：<1 強酸性
初留点/沸点：データなし
沸騰範囲：データなし
融点/凝固点：データなし
分解温度：データなし
引火点：データなし
自然発火温度：データなし
蒸気圧：データなし
蒸気密度：データなし
比重/密度：データなし
水に対する溶解度：混和する
n-オクタノール/水分配係数：データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性
吸湿性がある。

危険有害反応可能性
強酸であり、塩基と激しく反応し、ほとんどの金属に対して腐食性を示して引火性/爆発性気体(水素)を生成する。

避けるべき条件
日光、熱、湿気

混触危険物質
強塩基、還元性物質、酸化剤、金属、可燃性物質

危険有害な分解生成物
硫酸化物、水素

11. 有害性情報

急性毒性
急性毒性(経口)
[日本公表根拠データ]
(硫酸)
rat LD50=2140 mg/kg (SIDS, 2001)

急性毒性(吸入)
[日本公表根拠データ]
(硫酸)
mist : rat LC50=0.347 mg/L/4hr (SIDS, 2001)

労働基準法: 疾病化学物質
硫酸

局所効果
皮膚腐食性・刺激性
[日本公表根拠データ]
(硫酸)
腐食性物質

眼に対する重篤な損傷・刺激性
[日本公表根拠データ]

(硫酸)
ヒト 重篤な損傷 (ATSDR, 1998)
感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性
(硫酸)
IARC-Gr.1 : ヒトに対して発がん性がある
(硫酸)
ACGIH-A2(2000) : ヒト発がん性の疑いがある
催奇形性 : データなし
生殖毒性 : データなし
短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(硫酸)呼吸器系 (ATSDR, 1998)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(硫酸)呼吸器系 (ATSDR, 1998)
吸引性呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生毒性
水生毒性(急性)成分データ
[日本公表根拠データ]
(硫酸)
魚類(ブルーギル) LC50=16 - 28mg/L/96hr (SIDS, 2003)
水溶解度
(硫酸)
混和する (ICSC, 2000)
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層破壊物質 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
洗浄時に生じる汚染水は強酸性であるため、アルカリで中和した後処理すること。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 2796
品名(国連輸送名) : 硫酸(濃度が51質量%以下のものに限る。)又は電池液(酸性のものに限る。)
国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 8
容器等級 : II
指針番号 : 157

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
有害液体物質(Y類) 硫酸

注意事項：輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第3類 硫酸

名称等を表示すべき危険物及び有害物 硫酸(別表第9の613)

名称等を通知すべき危険物及び有害物 硫酸(別表第9の613)

有害物ばく露作業報告対象物質(平成29年対象・30年報告) 硫酸

腐食性液体(規則第326条) 硫酸

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

大気汚染防止法：特定物質 硫酸

船舶安全法：腐食性物質 分類8

航空法：腐食性物質 分類8

水質汚濁防止法：指定物質 硫酸 法令番号 15

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
2017 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : ヒトGOLM1 測定ELISAキット
製品番号 : KE00111 (メーカー略号: PGI)
構成品名 : ①Standards
②Detection antibody (100X)
③HRP-conjugated antibody (100X)
④Sample Diluent
⑤Detection Diluent
⑥Wash Buffer Concentrate (20X)
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性
皮膚感作性: 区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

安全対策

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
保護手袋を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

貯蔵

-20°Cで保存すること。(①~③)
4°Cで保存すること。(④~⑥)

廃棄

内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

(①~⑥について)

混合物/単一化学物質の選択 : 混合物

成分 : 0.05% プロクリン®300含有

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐ。無理に吐かせない。

気分が悪いときは医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性あるいは有毒なガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

接触回避

強酸化性物質との接触を避ける。

保管

安全な保管条件

-20°Cで保存すること。(①~③)

4°Cで保存すること。(④~⑥)

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度：データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所を取扱う。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡、ゴーグル、顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

形状：液体

色：データなし

臭い：データなし

pH：データなし

初留点/沸点：データなし

沸騰範囲：データなし

融点/凝固点：データなし

分解温度：データなし

引火点：データなし

自然発火温度：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

比重/密度：データなし

水に対する溶解度：混和する

n-オクタノール/水分配係数：データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の実験条件において安定である。

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

局所効果：データなし
感作性：データなし
生殖細胞変異原性：データなし
発がん性：データなし
催奇形性：データなし
生殖毒性：データなし
特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露)：データなし
吸引性呼吸器有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性・水生毒性：データなし
残留性・分解性：データなし
生体蓄積性：データなし
土壌中の移動性：データなし
オゾン層破壊物質：データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当
労働安全衛生法：非該当
化学物質管理促進(PRTR)法：非該当
消防法：非該当
化審法：非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
Supplier's data/information

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : ヒトGOLM1 測定ELISAキット
製品番号 : KE00111 (メーカー略号: PGI)
構成品名 : ①Antibody coated microwells
②TMB Substrate
③Plate cover seals
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本商品はGHS分類に該当しない

注意書き

安全対策

保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

廃棄

内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

①Antibody coated microwells

混合物/単一化学物質の選択 : 混合物

成分 : 抗体

②TMB Substrate

混合物/単一化学物質の選択 : 混合物

成分 : < 0.06% 3,3',5,5'-テトラメチルベンジジン(CAS RN®:54827-17-7)

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

- 口をすすぐこと。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置**消火剤****適切な消火剤**

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性あるいは有毒なガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****安全取扱注意事項**

適切な保護具を着用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

保管**安全な保管条件**

4℃で保存すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度：データなし

ばく露防止**保護具****手の保護具**

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡または顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

形状：液体(②)

色：透明

臭い：無臭
pH：データなし
初留点/沸点：データなし
沸騰範囲：データなし
融点/凝固点：データなし
分解温度：データなし
引火点：データなし
自然発火温度：データなし
蒸気圧：データなし
蒸気密度：データなし
比重/密度：データなし
水に対する溶解度：混和する
n-オクタノール/水分配係数：データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

避けるべき条件

日光、熱

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

局所効果：データなし

感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

催奇形性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露)：データなし

吸引性呼吸器有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性・水生毒性：データなし

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壌中の移動性：データなし

オゾン層破壊物質：データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物・容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当
労働安全衛生法：非該当
化学物質管理促進(PRTR)法：非該当
消防法：非該当
化審法：非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
Supplier's data/information

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。